

⑤ー1 森林整備事業＜公共＞

更新伐による育成単層林から育成複層林への転換

取組成果

- ◆ 虫害(スギノアカネトラカミキリ)被害抑制のため、12齢級に達したスギ・トドマツ人工林を帯状に伐採し、針葉樹と広葉樹による育成複層林へ誘導。伐採後は、現在広く活用されており、将来も家具材や樽材等での活用が見込まれるミズナラを植栽。

事業概要

- ◆ 実施地:北海道亀田郡七飯町字上軍川
- ◆ 事業実施主体:七飯町森林組合
- ◆ 事業実施期間:令和3年4月～5月
- ◆ 施業面積:3.88ha

取組のポイント

- ◆ 虫害(スギノアカネトラカミキリ)被害抑制を目的に林相転換を実施。
- ◆ 森林の公益的機能の発揮に配慮し伐採面積を分散。
- ◆ 植栽する樹種は樽材や家具材等、将来の活用が見込まれるミズナラを選択。

取組内容

- ◆ 更新伐
 - ・実施時期:令和2年5月～12月
 - ・伐採方法:帯状伐採(伐採率50%、伐採幅20m)
- ◆ 樹下植栽
 - ・植栽樹種:ミズナラ
 - ・地拵え方法:機械地拵え
 - ・植栽本数:1,000本/ha

【植栽完了後】



【R5.7月現在】



工事名 森林環境保全整備事業
工事区画 49 林道 20 小段
所在地 北海道 七飯町 上軍川
面積 2.19 ha
樹種: ミズナラ
林齢: 3 年生
伐採日: 令和 5 年 7 月 18 日
工程: 下刈り
状況: 施工後
施工者 七飯町森林組合

⑤ー２ 森林整備事業＜公共＞

広葉樹植栽・保育

取組成果

- ◆ 森林の持つ多面的機能の発揮のため、広葉樹の植栽により面的な針広混交林化を図っている。
- ◆ スギの伐採跡地には、多様な森林を作る観点から、成林実績があり、地域の立地条件等に適合しているブナの植栽を実施。

事業概要

- ◆ 実施地：秋田県鳥海町上笹子泥沢
- ◆ 事業実施主体：本荘由利森林組合
- ◆ 事業実施期間：平成30年11月～
- ◆ 施業面積：3.05ha

取組のポイント

- ◆ 土砂災害防止機能の発揮のほか、病虫害被害防止の観点から、地域に合った森林を育成するため植栽樹種は地域で過去に成林実績のあるブナを選択。
- ◆ 付近の森林においてスギ、ケヤキ等も一体的に植栽を行い、その後の下刈りも実施し多様な森林づくりを行っている。

取組内容

- ◆ 100cmブナ苗7,625本を2,500本／haで植栽。
- ◆ 植栽後は継続して下刈りを実施し、ブナ林を育成している。



⑤ー3 森林整備事業＜公共＞

広葉樹の適正な更新による森林資源の循環利用

取組成果

- ◆ 広葉樹の適正な更新と資源の循環利用のため、富山県では2014年より広葉樹更新伐を実施。
- ◆ コナラ林7.98haの更新伐を行い、伐採された木材は地域で活用されている。

事業概要

- ◆ 実施地：富山県南砺市樋瀬戸峠野島 地内
- ◆ 事業実施主体：富山県西部森林組合
- ◆ 事業実施期間：令和4年5月9日～令和5年12月20日
- ◆ 施業面積：7.98ha

取組のポイント

- ◆ 富山県のコナラをはじめとする里山林はかつて、薪や木炭などの燃料材として、20年～30年の短い期間で伐採され、萌芽更新により再生林のコストをかけることなく循環利用されていたが、燃料革命以降、利用がされなくなったことから老齢化が進み、伐採後の天然更新が難しくなっている。
- ◆ また、大径化に伴い、ナラ枯れが発生する危険もあることから、その対策として、伐採と適正な更新を図る。

取組内容

- ◆ 更新伐の実施にあたり、種子による天然更新が見込まれる母樹を残置する保残伐(伐採率70%程度)を実施し、萌芽更新や天然更新により適正な更新を図ることを目指す。
- ◆ 伐採後2年以内に、県による更新状況調査を行い、天然更新が困難な箇所については植栽を実施。



施業前



施業中



施業後